

創業70年 新たな領域へも挑戦

「東京青冷会」初代会長を歴任

1952年(昭和27年)に冷凍機部品・資材の販売を目的として三森商店として創業。来年は70年という大きな節目を迎える三森商事(社長三森敏雄氏、東京都豊島区巣鴨1-43-2)。

ちなみに1950年代の我が国の空調冷熱産業といえは戦後復興期にあり、ようやく海外の製品から国産のターボ冷凍機の出現や冷却塔を使用したビルセントラル空調が動き始めた時代で、それすらもごく限られた商圏で、その後のゴールドチェーンへの進展やパ

ママストアからスーパーマーケット化前後といった時代といえる。

現在、三森商事は冷凍空調機器の総合商社として首都圏を地盤に全国での各種案件にも適宜に

応える「動く商社」としての特長が映える。近年ではBtoBはもとより、BtoCといった商

圏へも販路を拡大するとともに、グループ会社で各種冷却水循環装置、冷

・温調機及び冷凍機応用装置などエンジニアリング部門を担う日本冷機製

作所(東京都文京区)との相乗効果や、大手ハウ

スメーカーとの協業による土地・建物の購入、売却。またリフォーム・仲

介などにおける橋渡しにも取組み、多面的にビジネスを構築し、いわゆる

直近の状況について三森敏雄社長に聞いた。「やはり1年半近くこに渡るコロナ禍の影響は免れない。当社は市場別に営業を3部制としており、営業1部ではスーパーマーケット等、ゴールドチェーン関係の案件を主体に動き、営業2部は環境試験装置メーカーやセツトメーカーといったエンドユーザー直結での需要に対応しているが、特にエンドユーザーが自動車関係、半導体関係といった先端分野に密接する環境試験装置などの需要が影

響を受けているほか、同じ食品関係でも外食関連が目要請等で低調となり、これに伴う設備関係は厳しいものの、一方で内食の増加による流通関連は繁忙といった具合に明暗がはっきりと分かれた。但し、今後の見通しについてはチャネルごとに明るい話題も見え始めており、昨年度のような状態は脱しきれると確信している。一日も早くコロナ禍が終息へと向かい、本来の当社の持ち味である顔の見える営業を再開したい」とした。

さてこうした新たな取り組みの一端として、本年より同社では取引先である楠本化成(東京都千代田区)が生産する超低温冷媒R23の代替冷媒R469Aの国内総販売元となった。

マイナス70度Cへ対応し、GWP値は1500以下をクリアする同冷媒

を三森商事のネットワークで国内展開する。

この新事業については現在、ガスボンベの輸送基準が厳しく限定されていることからテリバリー

に対して全国の拠点にも協力要請を行っている。

このほか、冷・温調機及び冷凍機応用装置等の案件など、同社の石川佳宏技術顧問(元・松村製作所)の設計や佐藤洋一技術部長(元・ダンフォオ)の技術相談窓口が需要創出に繋がっている例も多い。

他方で同社が加入する一般社団法人東京青冷

空調設備協会(以下「東冷協」)において三森敏雄社長は2005年より理事に就任。現在は社業専念のために、一歩下がる形で理事を退いてはいるが、この間、編集委員会委員、城西地域部会部長。そして同協会初の青年部、東京青冷会初代会長などを歴任した。

特に東京青冷会発足については上部団体の一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会(以下「日設連」)が2006年(平成18年)に社団法人化30周年の記念事業の一貫として全国の若手・次世代

経営者による座談会を開催し、翌年に日設連青年部会設立準備会を立上げ、翌2008年(平成20年)に日設連青年部会を設立したが、この際に首都圏の団

体である東冷協に青年部が無いのは問題ありとして2007年に設立されたのがきっかけ。その後、5年間任期を務め、次期会長(セイコー産業東京・光永佳仁取締役)にバトンを渡した。時は一巡し現在、三森社長は日設連青年部OB会の副会長を務める。

この度の東冷協創立50周年に対しては「半世紀に敬意を表することも努力に感謝申し上げたい」としたうえで、今後協会の運営について「なかなか横の繋がりを作るといいう事が難しく、会合などでは言葉では繋がるものの、互いのビジネスに活かされるといったところが少ないと感じている。さらにオープンな立場で情報の交換、共有を行い、仲間意識を蓄積して新しい形のビジネスモデルを構築する場になって欲しい」とした。

東京青冷空調設備協会 創立50周年特集



三森 敏雄社長

空調設備協会(以下「東冷協」)において三森敏雄社長は2005年より理事に就任。現在は社業専念のために、一歩下がる形で理事を退いてはいるが、この間、編集委員会委員、城西地域部会部長。そして同協会初の青年部、東京青冷会初代会長などを歴任した。

この度の東冷協創立50周年に対しては「半世紀に敬意を表することも努力に感謝申し上げたい」としたうえで、今後協会の運営について「なかなか横の繋がりを作るといいう事が難しく、会合などでは言葉では繋がるものの、互いのビジネスに活かされるといったところが少ないと感じている。さらにオープンな立場で情報の交換、共有を行い、仲間意識を蓄積して新しい形のビジネスモデルを構築する場になって欲しい」とした。



楠本化成の超低温冷媒R469A

同社が総販売元となる超低温冷媒R469A

同社が総販売元となる超低温冷媒R469A